

## 「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2019」を開催しました

11月23日、滝沢市の岩手産業文化センター（アピオ）で「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2019」を開催しました。

この大交流会は、県内企業について知らない県内の若者が多いことから、従来の採用直結型の就職説明会ではなく、まずは若者に県内企業を知ってもらい、地域で働き地域で暮らす魅力を発見してもらうことを目的に、厚生労働省岩手労働局及び公益財団法人いわて産業振興センターと共催で実施したものです。

3回目の開催となる今回は県内の企業・自治体・NPO、大学研究室等 151 団体が出展し、学生約 900 名を中心に約 1,500 名が参加しました。



この大交流会の特徴は何と言っても「学生主役型」のイベントであること。県内高等教育機関の学生で組織する学生実行委員会が出展団体への事前取材や当日の企画運営、司会進行等運営全般に主体的に携わりました。事前取材を行った出展団体については、学生ならではの感性を生かし、インスタグラムやフェイスブック等の SNS を活用して親しみやすい文章で紹介。来場者の興味・関心を引くよう努めました。

当日は、来場者の目を引くよう出展団体が各々工夫を凝らして装飾を施したブースで 10 分間×6 回のプレゼンテーションが行われ、熱意とアイデアあふれる PR が展開されまし

た。これまで同様、出展者・来場者はネクタイ・スーツ着用 NG とし、リラックスした雰囲気の中、学生も事業内容や社風等気になることを気兼ねなく質問し、お互いに理解を深めました。

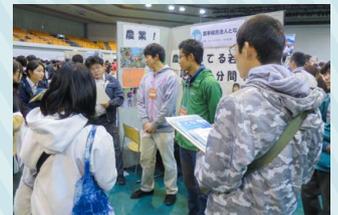


た。これまで同様、出展者・来場者はネクタイ・スーツ着用 NG とし、リラックスした雰囲気の中、学生も事業内容や社風等気になることを気兼ねなく質問し、お互いに理解を深めました。

学生からは、「自分の将来を考えさせられた」、「関心のなかった職種・業種に興味を持つことができた」等の感想が寄せられており、今

まで知らなかった地元の産業やそこで働く人々が活躍する姿に触れることで、地域や自分の未来について思いを巡らせるきっかけになったようです。

この大交流会が、岩手の若者にとって地域の良さを知り、地域で暮らすことを考える足掛かりとなることを願っています。



### 来場者の声 (来場者アンケートから)

● 普通の企業見学では雰囲気的には聞きづらいことを聞いた。より岩手県内で働くことを考えるようになった。

- 「興味はあるがよく知らない」という業種や企業とも交流できて、非常に自分のキャリアの為になった。参加するまでは「授業の一環だから」というスタンスだったが、参加して本当に良かった。
- 自分の将来を考えさせられるブースが多く、岩手県の新たな魅力や挑戦し続ける大人に会え、とても充実した一日であった。もう少しブースを回りたいかと名残惜しいが、また、参加したいと思う。
- 熱心な企業が多く、関心のなかった職種・業種でも、内容に興味を持つことができたので、視野を広げる良い機会になったと思う。

## フォーラム等を同日開催しました



大交流会の直前に「第1部」として、いわてオリジナルのインターンシップについて紹介するフォーラムや、VR 装置・車いすを使った疑似体験等を通して介護職への理解を深めてもらう講座、大学院生による研究発表等の3つの催しを同時開催し、学生らが耳を傾けました。

### イベント名

インターンシップ&働き方改革フォーラム

介護職員のリアルトークとVRによる職場見学

大学院生の地域・農林水産業等に関する研究等の発表

## 「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2019」参加者の声を紹介します!

### 出展団体 から一言

株式会社イーエムエス 大澤邦雄 業務部長

昨年に引き続きの参加。今年の展示は、毎年参加の安比リレーマラソンと初参加のETロボコン大会のパネル・スライドショーでした。弊社の本業は車に装備する機器のソフトウェア開発ですが、お祭り気分のイベントで小難しい展示をするのは野暮というもの。活きの良い若手社員が活躍の様子を見て頂くとのコンセプトから、会社が全面的に補助(ほぼ全額)しているクラブ活動の展示

を前面に出してのイベント参加でした。

開始早々から、各種ロボコン大会の上位入賞常連校である一関高専の学生に次々と来て頂き、私もやっています、先輩がやっていますということになり、楽しい語らいとなりました。岩手に残って働こう、と思ってくれたかな?そんな気持ちが芽生えてくれれば、と願った一日でした。



### 岩手県 副知事 から一言

保和衛  
副知事



今年3回目の「ふるさと発見!大交流会 in Iwate」に参加しましたが、回を重ねるごと、さまざまな工夫が随所に見受けられ、素晴らしいイベントに成長したと実感しました。改めて、準備を重ねた関係機関、学生実行委員会、参加された企業・団体、足を運んでくださった皆さんに、心より感謝申し上げます。

各ブースを回り、技術革新に取り組みながら地域に根差した事業に取り組む企業や、高い技術力に基づき、世界を舞台にグローバル展開する企業など、多種多様な魅力的な企業があることを改めて実感し、誇らしく思いました。

学生の皆さん、「岩手で働くこと」の魅力を発見できたでしょうか。魅力ある企業との出会いをきっかけに、学生の皆さんには「岩手ファースト」で進路を考え、未来を切り開いて頂きたいと思えます。

このイベントが、今後も企業と学生の皆さんの良き出会いの場となり、ふるさといわての再発見につながることを願います。

### 学生 実行委員 から一言

学生実行委員会委員長

大山一樹  
岩手大学  
人文社会科学部3年

皆さんの支えがありここまでやってくることができました。

今回の大交流会を実施するにあたって、今までの大交流会で頂いた意見や感想、反省を学生実行委員会内でじっくりと考えながら進めてきました。学生のサークルに登場して頂いたり、リサーチタイムを増やしてみたりと、より学生と企業が近い形で交流できる新しい大交流会ができたのではないかと考えています。



今回お越し頂いた皆さんや参加して頂いた企業・団体の皆さん、そして共に創り上げてきた学生実行委員会の仲間たちに改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 「ふるさといわて創造人材」認定第1号

ふるさといわて創造プロジェクトでは、2019年4月から参加高等教育機関の学生を対象に、いわての持続可能な発展と復興のために地域の課題解決に向けて主体的に行動・発信できる人材の育成を目指す「ふるさといわて創造人材教育プログラム」を展開しています。

プロジェクト参加高等教育機関で開講される「ふるさといわて地域科目」から所定の単位を修得し、さらに他校の学生との協働プロジェクトを遂行してそ



の成果を発表し、その後の審査に合格した学生にふるさといわて創造協議会会長より「ふるさといわて創造人材認定証」が授与されます。

この度、プログラム初となる「ふるさといわて創造人材」として菅原和将さん(盛岡大学文学部3年)が認定され、11月6日に盛岡大学で認定証が授与されました。

地域の未来を担う人材として今後のさらなる活躍が期待されます。

## 2月にCOC+フォーラムを開催します

来る2月12日に盛岡市内でフォーラム「『岩手の未来を切り拓く』～ふるさといわて創造プロジェクトが取り組んできたもの～」(仮)を開催します。

このフォーラムは平成27年度から実施してきた本プロジェクトが今年度で国の補助事業としては終了となることから、これまで展開してきた取組を振り返り総括するものです。

当日は「ふるさと発見!大交流会 in Iwate」等、本プロジェク

トの主な取組を紹介するほか、在学中にCOC+の取組に参加した県内高等教育機関卒業生をパネリストに迎え、若者と地域の関わりについてパネルディスカッションを行う予定です。

詳細については本プロジェクトのホームページ(<http://cocplus.iwate-u.ac.jp/>)に掲載していきますのでご確認ください。

皆様のご参加をお待ちしております。